

■ 歴史をイラストで読む『The Sphere』が伝える戦争・政治・文化の潮流

『ザ・スフィア』 1900-1964年

The Sphere, 1900-1964

世界大戦から大英帝国の衰退まで、60年以上の歴史を記録



『The Sphere』は1900年に創刊され、1964年まで刊行されました。その大部分の期間、『The Illustrated London News (ILN)』の所有下にありました。創刊者は、かつてILNの編集者を務めたClement Shorterです。創刊号から国際的な視点を意識し、「世界中の写真や思索を収める」ことを目指しました。発刊当初から、その美しい装丁と芸術的な表現が「挿絵入りジャーナリズムにおける目覚ましい進歩」として高く評価され、すぐに人気を博しました。本コレクションには、『The Sphere』の1900年1月から1964年6月までの約4,000号、約16万点の画像が収録されています。

『The Sphere』は、愛国的かつ強く体制寄りの立場を取っており、英国王室や大英帝国への支持を表明していました。共産主義の台頭、第一次・第二次世界大戦、アラブ・イスラエル紛争など、世界の出来事を広範に報道しました。

また、ジョン・ラスキンやアルベルト・アインシュタイン、フランクリン・D・ローズヴェルト、ゴルダ・メイアといった、芸術・科学・政治の著名人についての記事を多数掲載しました。さらに、児童文学作家として有名なA・A・ミルンや、多作のジャーナリストであるCharles Gravesなど、名だたる文学者による寄稿も掲載されました。本コレクションは、英国社会、軍事史、植民地主義の遺産を研究する研究者や学生にとって、貴重な資料を提供するものです。



大学・学術機関向け価格

| FTE (学生数+教職員数) | 3,000~4,999 | 5,000~9,999 | 10,000~19,999 | 20,000~29,999 | 30,001 以上 |
|----------------|-------------------|-------------|---------------|---------------|-----------|
| Archive 買い切り価格 | 価格は弊社までお問い合わせください | | | | |

※大学・学術機関向け IP 接続・同時アクセス無制限でのご利用となります。

※Archive 買い切りの年間管理費(Annual Hosting Fee)は不要です。

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

トライアルも承ります!! 詳細お問い合わせは弊社まで

日本総代理店 **極東書店**

FAR EASTERN BOOKSELLERS
KYOKUTO SHOTEN LTD

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル
〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761
075(353)2093 FAX (353)2096
092(751)6956 FAX (741)0821





■60年を超える膨大なアーカイブを、年別に65のパートに整理したコレクション

Clement Shorter は、1900年に『The Sphere』を創刊しました。これは、彼が『The Illustrated London News (ILN)』の編集者を辞した後のことでした。これに対抗する形で、ILNは『The Spear』という競合誌を立ち上げました。誌名を意図的に似せることで、Shorterが獲得した読者層を奪おうとしたのです。しかし、『The Sphere』は人気を博し、成功を収めました。その後、Shorterは『The Tatler』や『The Sketch』など、ILNの「姉妹誌」にあたる複数の雑誌を創刊しました。

● 『The Sphere』の保守的・愛国的な立場

『The Sphere』は、保守的で深く愛国的な世界観を持つ雑誌でした。例えば、1900年1月に発行された創刊号では、編集者が「『The Sphere』はイングランドのためである。イングランドは議会制度の母であり、世界の半分に自由な制度を与えた国である……」と宣言しています。1920年代になると、この雑誌は自らを「帝国のイラスト入り週刊誌 (The Empire's Illustrated Weekly)」と明言するようになりました。



● 労働者階級への敵対的な姿勢

『The Sphere』は労働者階級の運動に対して、しばしば敵対的な態度を取っていました。その結果、意図的かどうかは別として、当時のイギリス社会に根強く存在していた深刻な社会的不平等を反映することになりました。例えば、1932年11月に行われた「National Hunger March」の報道では、『The Sphere』は次のように警察の対応を擁護しました。

「騎馬警察は、統制と攻撃の両方において、極めて貴重な存在だった」



さらに特筆すべきは、同じ記事内で、コノート公アーサー王子が「カキの宴」に出席した様子も報じられていたことです。これは、当時の社会階級の格差を象徴する対照的な内容でした。

● 第二次世界大戦と軍事技術への関心

第二次世界大戦が勃発すると、『The Sphere』は軍事技術の進化とその配備に関する報道に大きな比重を置くようになりました。戦闘機、潜水艦、軍艦など、兵器に関する記事が定期的に掲載されたほか、ヨーロッパ戦線、太平洋戦線、アフリカ戦線の詳細な戦況報告を掲載し、読者に連合国の戦況を伝えていました。



● 20世紀の変遷を映す『The Sphere』

『The Sphere』は、20世紀初頭から「スウィング・シックスティーズ (1960年代の文化的変革期)」までの約70年間を記録した雑誌です。この間に発展したイギリスの製造業や消費文化を研究する上で、極めて貴重な資料となります。誌面には、当時の広告も多く掲載されており、たとえばロールス・ロイス、ラウントリーズ (Rowntree's)、マクビティーズ (McVitie's) **といった、現在でもよく知られるブランドの広告が含まれています。

British Online Archives の詳細お問い合わせは弊社まで



日本総代理店 **極東書店**

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル

TEL: 03-3265-7531 FAX: 03-3556-3761 <https://www.kyokuto-bk.co.jp> E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp